

経営比較分析表（令和5年度決算）

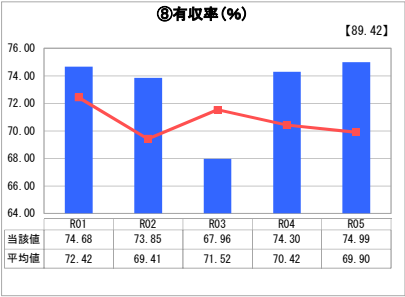
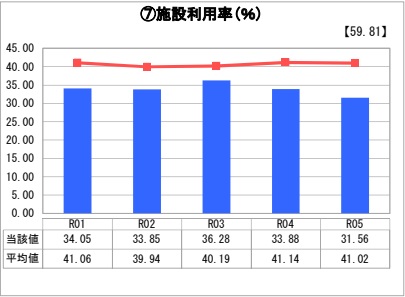
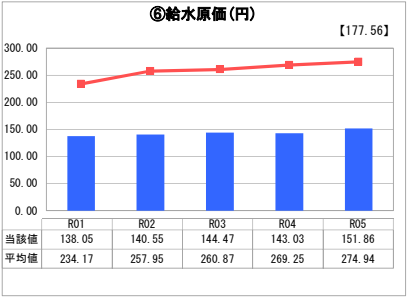
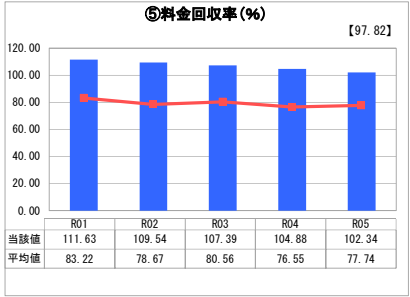
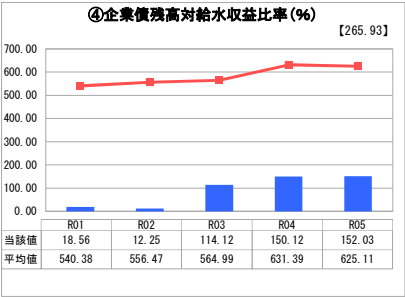
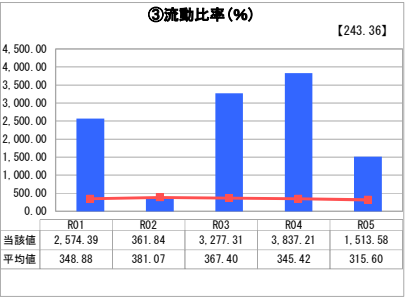
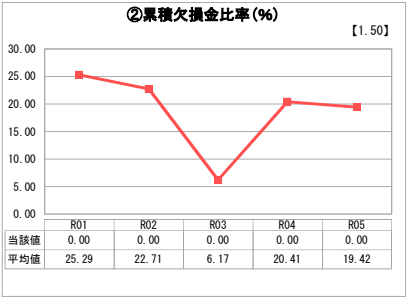
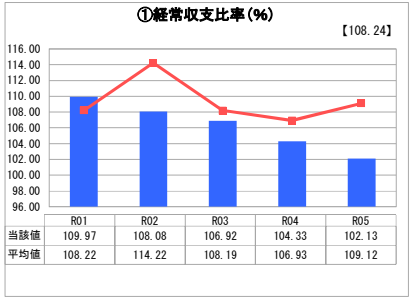
和歌山県 すさみ町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A9	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	85.08	64.36	2,915	

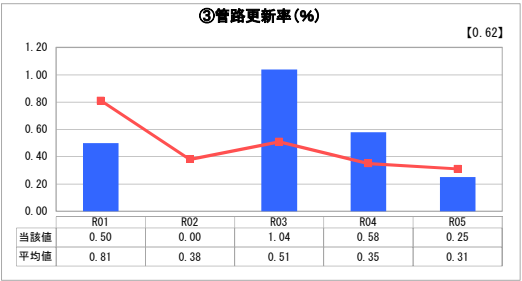
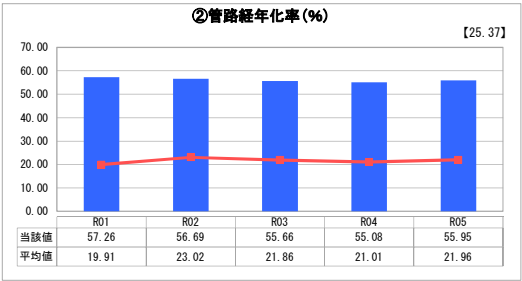
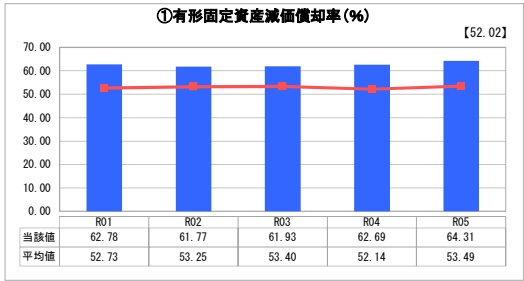
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
3,607	174.45	20.68
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,286	25.25	90.53

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率が、100%を上回り推移しているが、平均値と比較すると低く、給水人口の減少及び公共施設の高台移転が一部要因で、上水道区域から簡易水道区域に施設の移転が進んでいる為、給水収益の減少も同時に進んでいる。累積欠損比率は0%である。短期的な支払い能力を示す流動比率は平均値と比較し若干高く支払余力があると推測することができる。企業債残高対給水収益比率が増加した要因は、施設の耐震補強工事に伴い借入額が増加した事である。給水原価が全国平均と比較して低い水準であり、料金回収率も100%を上回り推移しているが、年々下降している。施設利用率は、全国平均より低くなっており、給水人口の減少により施設規模が過大となっている。有収率は、平均値より高く管路の老朽化に伴う漏水調査を計画的におこない修繕を早期に進めている。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率と管路経年化率は、平均値と比較して高く、横ばい状態となっている。有収率は平均値と比較し若干高い。法定耐用年数を超えた資産が多く、平均値より管路の更新率が低い状況である。要因としては、原材料・人件費の高騰などにより管路の更新延長が進んでいない為。

全体総括

基幹管路の更新に優先順位をつけて老朽管の更新、配水系統の複線化を行い安定的に供給できる管路を構築する必要がある為、水道料金の値上げ等も考慮して施設の状態を健全に保つよう進めていく予定。